



消防情報

西消防署

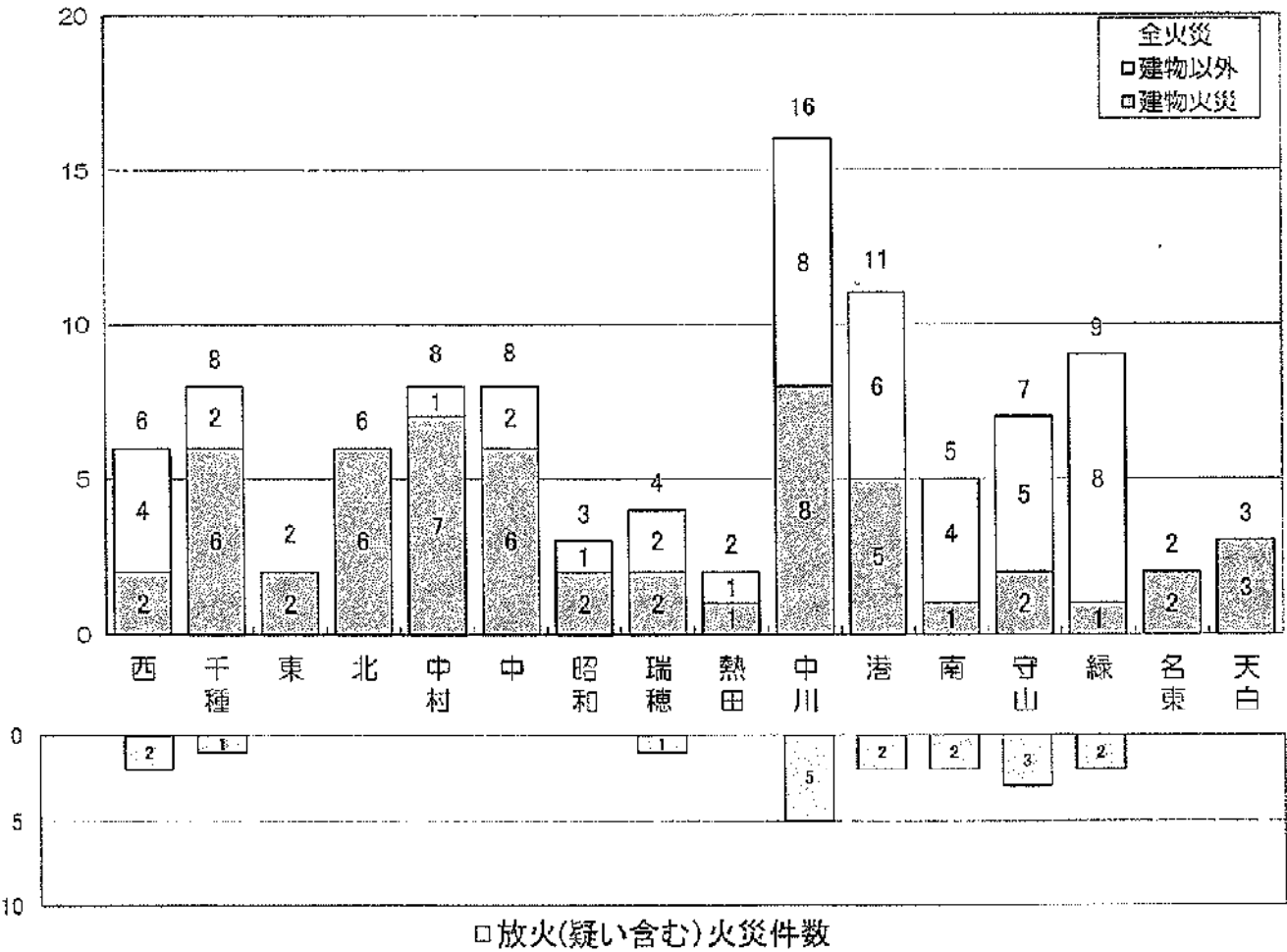
令和7年3月号

◇ 火災件数等(前年同期比1月～2月)

		火災件数		焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	死傷者(人)	
			建物			死者	負傷者
西区	令和7年	6	2	0	22	0	0
	令和6年	5	2	34	619	0	1
	増減	1	0	-34	-597	0	-1
名古屋市	令和7年	100	56	573	18,529	1	13
	令和6年	76	51	419	112,999	1	16
	増減	24	5	154	-94,470	0	-3

注) 焼損床面積及び損害額は調査中のものを含む。

◇ 行政区別火災件数(令和7年1月～2月)



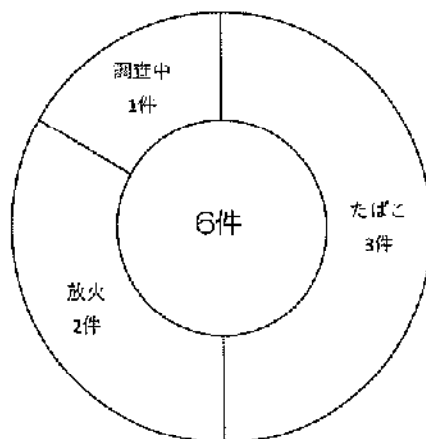
守りたい 未来があるから 火の用心
2024年度 全国統一防火標語

◇ 学区別火災件数(令和7年1月～2月)

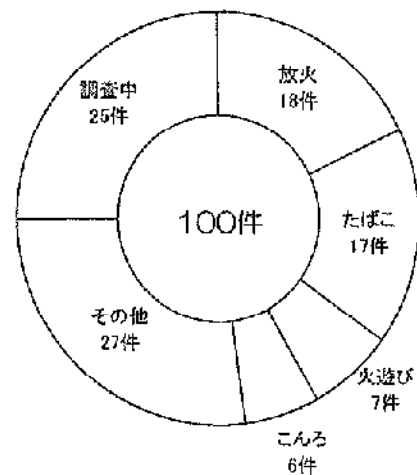
学区	全火災	建物火災	死 者(人)	負傷者(人)
那古野	0	0	0	0
幅 下	0	0	0	0
江 西	0	0	0	0
城 西	0	0	0	0
榎	0	0	0	0
南押切	0	0	0	0
栄 生	0	0	0	0
枇杷島	1	0	0	0
児 玉	1	1	0	0
上名古屋	0	0	0	0
庄 内	0	0	0	0
瀬 生	1	0	0	0
山 田	0	0	0	0
平 田	0	0	0	0
比 良	0	0	0	0
大野木	1	0	0	0
浮 野	0	0	0	0
比良西	0	0	0	0
中小田井	2	1	0	0
合計	6	2	0	0

◇ 主な出火原因

西区



名古屋市



注) 放火には疑いを含む。

◇ 救急出動件数(前年同期比1月～2月)

		合 計	急 病	交 通	一般負傷	転院搬送	その他
西 区	令和7年	1,651	1,204	73	248	88	38
	令和6年	1,538	1,096	64	235	88	55
	増減	113	108	9	13	0	-17
名 古 屋 市	令和7年	27,470	19,808	1,027	3,948	1,745	942
	令和6年	26,127	18,799	979	3,837	1,635	877
	増減	1,343	1,009	48	111	110	65

◇ 学区別救急件数(令和7年1月～2月)

学区	合 計		急 病		交 通		一般負傷		転院搬送		その他	
		前 年 同 期 比		前 年 同 期 比		前 年 同 期 比		前 年 同 期 比		前 年 同 期 比		前 年 同 期 比
那古野	47	8	37	8	2	2	7	1	1	-4	0	-2
幅 下	98	-26	71	-24	5	3	12	-1	5	2	5	
江 西	32	-12	24	-11	2		4	0	2	-6	0	-8
城 西	105	-25	77		2		17		6	1	3	
根	81	-10	52	-6	5		19	9	1	-1	4	-1
南押切	30	0	23	-1	1		6	0	0	0	0	0
栄 生	119	-14	85	-27	1	-4	12	-2	21	-5	0	-2
枇杷島	74	-9	55	-1	3	-1	11	-2	5	-2	0	-8
児 玉	77	-4	59	-4	4	0	11	-1	0	0	3	
上名古屋	137	0	102	-2	8		16	-5	8		3	0
庄 内	142	-2	99	-3	11		23	-2	6	1	3	-2
稲 生	113	-5	86		4	0	15	0	6	-4	2	-2
山 田	161	-9	112	-6	10	-2	20	-9	15	10	4	-2
平 田	96	-2	69	9	3	-5	18		4	2	2	
比 良	38	1	29	1	1		6	0	0	-1	2	0
大野木	92	8	71	1	4	0	13	6	3	0	1	1
浮 野	64	0	45	7	2	0	14		0	-2	3	-4
比良西	59	-5	48	-8	3		6	-4	1	0	1	-1
中小田井	86		60		2		18	3	4	-2	2	0

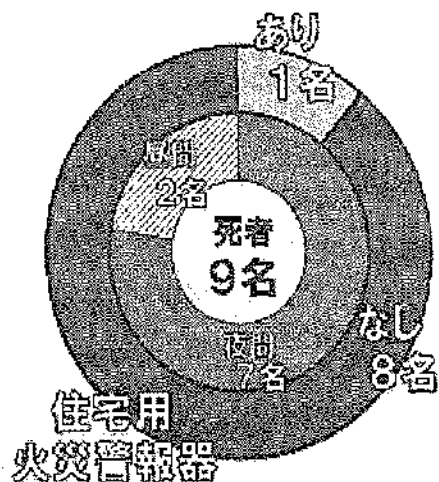
※ 「その他」欄は、「火災」「水難」「労働災害」「加害」「自損行為」「運動競技」等による出動件数

◇区内の火災概要(令和7年2月中)

発生日	場 所	学 区	種 別	概 要
12日	康生通2丁目地内	児玉	建物	日中、共同住宅の雑品が一部焼損
16日	歌里町地内	大野木	その他	深夜、共同住宅駐車場の雑品が一部焼損

\\ 起きてる時も、寝てる時も /
火災による被害の多くは 逃げ遅れ です

令和6年の火災による死者の状況



令和6年の火災による被害死者数は、**9**名でした。
そのうち**8**件で住宅用火災警報器が設置されてい
ませんでした。

夜間に火災が発生した場合、住宅用火災警報器が
設置されていなければ、火災に気付くのが遅れて、
逃げ遅れる可能性が高くなります。

※令和6年の火災件数は、510件でした。